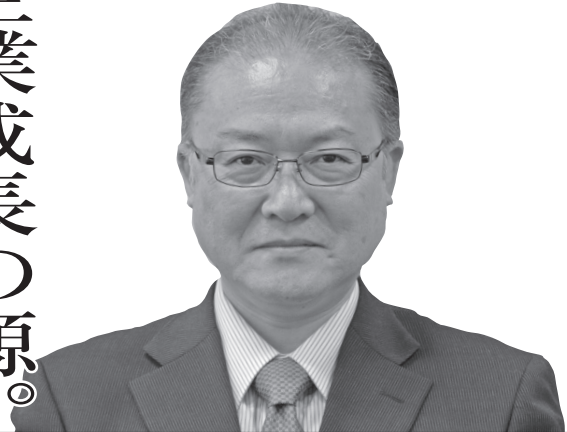


私の仕事観

オートバックスグループの人的基盤整備を担う子会社として2月にスタートを切った当社。代表取締役社長として「お客様と接している現場」店舗従業員がイキイキ働く会社にするところこそがお客様満足度向上の源泉」という信念を改めて胸に刻んでいます。一人ひとりの人材がイキイキと働き成長することで、周囲の人材の意識・行動を変えお客様へのサービス品質が向上します。これが店舗の成長に繋がり、店舗の成長はフランチャイズ加盟法人の成長を促します。この『成長（IIグロウス）連鎖（IIチェン）』でフランチャイズチェン全体の成長に繋げようというのが社名の由来です。

人材の成長連鎖こそが企業成長の源。 車社会の安全を担う人づくりに挑む



株式会社チェングロウス
代表取締役社長

関口 秀樹

せきぐち ひでき

1964年生。1987年オートバックスセブン入社。4年間の店舗勤務を経て本社人事部で25年間、人事戦略の立案・実行に携わる。フランチャイズ加盟法人の人的基盤強化の必要性を実感、加盟法人の人事労務対策部門の設立を進言、2015年よりチェン人事部の責任者としてグループ83社の人的基盤整備に携わる。2017年、チェングロウス設立に伴い現職。

●会社概要

1970年株式会社東京設計として事業スタート。日東電工グループ、オートバックスグループへの参画を経て、1998年、株式会社サポートAとして、本格的に人材ビジネスに参入。2009年テンフスタッフグループに参画。2017年株式会社オートバックスグループに株式譲渡。株式会社チェングロウスに社名変更。オートバックスグループのチェン人事部と連携しオートバックスチェンの人材基盤強化を担う機能子会社としてスタートを切る。

最近思っていることあり

日本の車社会の安心と安全を担保するためにはなくてはならない仕組みが「車検」です。近年、それを担う自動車整備士になる人が急激に減少し車社会の安全にとって深刻な社会問題になっています。自動車整備士のなり手を増やそうとオートバックスグループでは整備士育成の仕組みを作りました。当社は、社会に役立てる有資格者として活躍する道を拓くこの仕組みを活用する人材を集め、全国の店舗に供給し、質の高い整備士に育成することを通じて日本社会に貢献する存在になります。

未来に向かって

自動車整備士の育成に関しては経済的事情などから整備士専門学校に進学できない若者を迎え入れ全国の加盟店で働きながら資格を取得しイキイキと働ける仕組み・環境づくりを加速させます。海外人材育成の仕組みも整えます。外国人技能実習生の分野で提携しているフィリピンの学校法人との連携を強化し、高度な整備技術を持つエンジニアを海外で育成し日本で活躍していたためための取り組みにも着手し、豊かで健全な車社会を人的側面から支援します。

Top